

## 建設委員会傍聴記

8月5日(火) 午前10時から建設委員会が開かれました。冒頭、川口委員長(自民)は「陳情184号(北小岩提出)、185号(同)、193号(18班提出)など関連する陳情は一括して審査し、次回結論を出したい」旨の発言がありました。

**早川委員(自民)** 多くの人が移転をしているので早く結論を出すべき。

**所委員(公明)** 同感だ。

**杵委員(みんなの党・一人の会)** 三陳情は結論を出せる。基本的に早く結論を。

**小俣委員(共産)** スーパー堤防は不要の立場は変わらないが意見は出す。

**滝沢委員(えどがわ)** 184号は継続としたい。警報のあり方とスーパー堤防については未だ理解していない。193号は実施した方がよい、の立場だ。

**委員長** 184号は継続とする。185号、193号は9月の委員会で、各会派の意見開陳後に結論を出す。

**小俣委員** 184号で、江戸川区の警報基準は時間雨量60mmで、他区の50mmと異なるが地形等の差なのか、はつきりすべきだ。  
**土木部** 気象庁の発表で「災害の恐れのある場合」は60mm以下でも警報は出す。

**小俣委員** その基準は。  
**土木部** 詳しくは知らないが、平成22年5月に気象庁が定めた。

**小俣委員** 何故、北小岩なのか。18班地区は危険箇所として指定されていない。災害対策として優先順位があるはずだ。

**土木部** スーパー堤防整備は873kmから120kmに縮小されたが、江戸川・荒川の全てが対象になっている。鉄橋等の所では堤防の高さが低い所はあるが、国が順次

直して行く。18班は街づくりの必要性があると判断している。分けて考えて欲しい。

**小俣委員** 関宿水閘門は洪水時、機能しないとされるが、江戸川には最大流量2449トンしか流れないので。

**土木部** 委員ご指摘の通り、現状は25%しか江戸川に流れていないが、4割を流す計画はある。利根川水系全体で考える話だ。

**小俣委員** 江戸川には決壊の歴史はない。関宿水閘門の改善計画は。

**土木部** 国はおおむね30年としている。堤高は低い所もあるが、満足している。

**小俣委員** ならば通常堤防の整備が優先、と言うことを申し上げて質問を終わる。

**杵委員** 18班の土壌汚染の原因は。  
**土木部** どういう経過で盛り土がなされたか不明だ。国土地理院の地図によれば買収した地は盛り土された所だ。

**早川委員** 18班地区には多くの問題点がある。課題を解消するには良い例だ。だから皆さんも同意されたのでは。

**小俣委員** 先日の朝日新聞で区長は、残りの家もすべやる、と言っているが。  
**土木部** 二軒目の直接施行は回避できた。残った所はいつまでとは決めてない。  
**委員長** 本日は継続とする。



区長の「今やらなければ禍根を残す」の朝日新聞インタビューから